



滋賀県高島市立新旭南小学校 学校だより

百年桜



〈学校教育目標〉

かがやくひとみ

～自律できるたくましさを育む～

〈スローガン〉

笑顔で登校 笑顔で学び 笑顔で帰る

令和7年(2025)年6月27日 文責 梅村

1学期のまとめの時期になりました

早いもので1学期もまとめの時期を迎えました。子どもたちが夏季休業までの日々を有意義に過ごすとともに、1学期間の自分の成長を感じ取り、新たな目標を見つけられるよう指導していきます。子どもたちへの励ましや、健康管理等について、引き続きよろしくお願いします。

さて、梅雨とはいえ、今年は例年に比べ雨の降る日が少なく、連日のように厳しい暑さが続いています。学校では水分補給等の熱中症対策を行い、自分自身で健康管理に努めるよう呼びかけています。また、暑さ指数(WBGT)が31以上となったときには、屋内外での激しい運動を禁止し、涼しい環境が整う室内で過ごすように指導しています。



全校児童の七夕かざり(職員室前廊下)



避難訓練・引き渡し訓練

6月13日(金)には、地震を想定した避難訓練を行いました。その後、緊急時に児童の安全な引き渡しを行う訓練を湖西中学校区合同で行いました。これを機に、学校と保護者の方との連携、各ご家庭での避難のあり方などについて考える機会としていただければと思います。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

夢の会サポート会議へご参加ください 次回は7月3日(木) 17:15～です

毎月第1木曜日、17:15 から夢の会の定例会議をしています。子どもたちへの学習支援や登下校時の安全について協議をしています。また、学校の昼休みなどに、昔遊びや学習支援をする活動を検討するなどしています。次回は7月3日(木)がサポート会議です。夢の会に登録されてなくても構いませんので、ぜひご参加ください。

7月の行事予定

月	火	水	木	金
	1 びわ湖の日の活動	2	3 5校時日課 14:40下校 ティンクルさんのお話会 夢の会サポート会議	4 5校時日課 14:40下校 6年租税教室 4年校外学習 (下水処理場・かばた見学)
7 クラブ活動	8 5校時日課 14:40下校	9	10 5校時日課 14:40下校 訪問貸出 ゆめのかいといっしょ	11 個別懇談会 13:10下校 (新庄・太田) 5 5 交流 家読の日
14 個別懇談会 13:10下校 (藁園)	15 個別懇談会 13:10下校 (井ノ口・安養寺)	16 個別懇談会 13:10下校 (川原市・北畑)	17 給食終了 13:30下校 大掃除	18 終業式 11:30下校 分団児童会 (19日～夏季休業)

*裏面は、滋賀県スクールソーシャルワーカー鈴木先生の記事を掲載しています。

新旭南小学校 保護者のみなさまへ



こんにちは(*^_^*) 私は滋賀県スクール・ソーシャルワーカー（SSW）の
鈴木 秀一（すずき しゅういち）と申します。
昨年と同様に今年度も新旭南小学校が拠点校となりましたので、よろしくお願い
いたします。主に毎週金曜日に来校することになっております。

教育相談のご案内

保護者さんを対象とした相談を承っております。子育てに関する悩み、または他に何かお困りのことがござ
いましたら担任か教頭の青木までお申込みください。些細な心配事でもかまいません。
子どもの未来について学校と家庭が手をたずさえて一緒に考えていけるよう支援いたします。

プロフィール

我が子の学校不適応（問題行動や不登校）に悩み、様々な機関に相談するものの改善に至らず、苦しんだ果て
に自分自身が心の専門家になることを決意する。その後、宮城県において中学校と高校、大学のカウンセラー、
教育事務所の専門カウンセラー、企業でメンタルヘルスの担当を務めていたが、体に異常を訴える方の多くが
心にも問題を抱えていることに気づき、心と身体の関係を理解すべく心理学と統合医療について理解を深める。
五十歳になったのを機にすべての仕事を辞め、さらに研鑽を積むべく大学院への進学を志し関西に移り住む。
現在は、スクール・ソーシャルワーカー&同事業のスーパーバイザーとして県内各地の学校を訪問している。

<<< SSW鈴木の一ポイントアドバイス >>>

「自己肯定感」と「自尊感情」について考えてみましょう

近年、この2つの言葉をよく耳にします。これらがしっかり備わっていて、そこで初めて自分だけでなく
相手のことも大切にできるとも言われています。辞書を引いてみると以下のように説明されていました。
自己肯定感とは、「ありのままの自分を肯定できる感覚」のこと 自尊感情は、書いて字の如く「自分を
尊い存在だと思える」ということになります。しかし残念なことに、若者らを対象としたアンケート調査に
よれば、日本人は他国に比べて自尊感情が欠如しているだけでなく、自己肯定感も異常な低さであることが
明らかになっています。この現状の背景に、いったい何が潜んでいるのでしょうか。

自尊感情も自己肯定感も言わばビルを建てるようなものであり、土台がしっかりしていなければ建てら
れないのです。この土台とは、他にもない「僕は（私は）父と母から望まれてこの世に生まれてきた！」
という実感であり、自分という存在が十分に承認されていることです。

ただ、それが「無条件の承認」ではなく、親の期待に応えられたときだけ認めてもらえる「条件付きの
承認」であったなら親の顔色ばかり窺うような子どもになってしまいますし、家庭内と同様に集団に在っ
ても自分は此处に居てもいいのだろうか・・・と常に不安感が付きまとうようになってしまうでしょう。

ただ、たとえ親から承認を得ることができなくとも、クラスの仲間から「きみが居てくれてよかった」、
「居てくれたら嬉しい。楽しい。」と歓迎されたり、自分が皆の役に立てているという実感「自己有用感」
を感じながら存在承認を得ることができそうですが、やはり自分の親から得られるに越したことはありません

親は、自分自身が育てられたようにしか子どもを育てることができないと言われますが、それはあくまで
無自覚な場合であり、自分にも存在承認が欠けていることを理解することさえできれば、わざわざ我が子に
自分が辿ってきた過酷な道のりを歩かせずに済むのです。